

## ■ 施策体系(案)

※◎:重点事業、○:主要事業

基本理念	基本方針	施策	分類※	事業	現行計画との関係	新規・変更等の理由	備考(事業内容等)		
皆で協力して創る一人ひとりが未来を拓かしたるまちをめぐりながら公共交通環境づくり	I みんなが通利網の構えやすい	1 各地区最寄りの生活必須施設まで行きやすくする公共交通の整備	◎	①地域主体型交通の導入推進等	①	継続	「地域主体型交通導入の手引き」の改定を反映、シルバー会員でのドライバー確保		
			○	②タクシー事業等との連携による移動手段の確保	-	新規	現行計画でタクシーを含む他の手段との連携が希薄であったため	タクシー助成や乗合タクシーなどによる移動手段の確保	
				③はっぴーバスの運行改善	②	継続		フリー降車区間の拡充、運営・運行方法の再検討	
		2 中心拠点へ行きやすくする公共交通の整備	◎	③社会の変化に応じたコミュニティバス等の運行改善 ④企業等の連携や社会情勢の変化に対応したバス・鉄道等の利用環境改善	③	変更		(仮称)道の駅加西整備基本構想、加西インター産業団地整備事業等の供用に合わせたコミュニティバス等の再編 沿線企業の就業時間に対応したダイヤ設定 ねっぴ〜号国正線と宇仁ふれあいバス国正線の役割分担の明確化	
			◎	⑤送迎負担の軽減に向けた取組推進	-	新規	子供の塾や高齢者の買物など、送迎者の移動実態に対応できていないと想定されるため	送迎実態の把握、送迎課題の検討、取組実施 アプリ等で移動先が近い車利用者とのマッチングによる相乗りサービスなども検討	
				⑥地域輸送資源の総動員による効率的な移動手段確保	-	新規	現行計画では対応できておらず、効率的な公共交通運営・運行が必要であると考えられるため タクシー事業との連携	交通事業者、施設経営者等との協議による病院送迎用バスやデイスーパー車両、企業バスなどと連携したサービス拡充	
		3 中心拠点内を周遊しやすくする公共交通の整備	○	⑦市街地線の機能強化	④	継続		北条鉄道とのパターンダイヤの導入や市街地内の施設整備状況に合わせた再編 加西インター産業団地整備事業に合わせた増便	
			○	⑧鉄道輸送力改善に向けた整備	⑤	変更	法華口駅行き違い施設整備後の取組を推進するため	さらなる運行本数の増加や車両数の増加検討	
		4 市外との連携を強化する公共交通の整備	○	⑨社会の変化に応じた路線バスの運行改善	⑥	継続		施設立地状況や利用状況に応じた運行改善を随時実施	
			○	⑩他市町と連携した公共交通の利便性向上	⑦	継続		西脇市、加東市、加古川市、姫路市などとの連携強化を検討	
			◎	⑪利用者が多いバス停でのベンチ・雨よけの設置 ⑫需要に応じた交通結節点の整備	⑧	変更	現在の公共交通の状況を踏まえるとベンチや雨よけだけでなく、交通の拠点としての整備が必要であると考えられるため	利用の多いバス停へのベンチ・雨除けの設置に加えて、渋滞緩和のためのバスベイ設置など 北条町駅や中富口バス停の拠点整備なども含めて実施	
		II 利便性の高い公共交通結節点の整備	5 待ち合い環境を改善する公共交通結節点の整備	◎	⑬バス停の環境改善を地域が独自で実施する場合の財政支援策の導入(アドプト制度の導入) ⑭バス停サポーター制度の導入	⑨	変更	事業名の表現変更	バス待合所やパーク&(バス)ライド駐車場やサイクル&(バス)ライド駐輪場の整備にあたり、地元企業や施設等が場所提供及びサポートを実施
	○			⑯パーク&(バス)ライド駐車場やサイクル&(バス)ライド駐輪場の整備及びPR活動の実施	⑩	統合			
	○			⑰サイクルトレインの拡充 ⑱レンタサイクルの利用促進 ⑲バスベイ設置推進	⑪ ⑫ ⑬	移動 移動 統合			
	6 分かりやすい運行情報の提供		○	⑲コミュニティバス等及び路線バス時刻表の統一化	⑭	継続		掲示時刻表の内容統一化	
			○	⑳デジタルサイネージ等によるバス・鉄道情報(運行情報等)の提供	⑮	継続		利用の多いバス停へのデジタルサイネージの設置推進	
			○	㉑コミュニティバス等におけるバスロケーションシステムの導入・利用促進 ㉒公共交通機関相互の乗り換えに対応した運行ダイヤの調整	⑯ ⑰	変更 継続	バスロケーションシステムの導入だけでなく、利用促進も図る必要があるため	R4.10よりねっぴ〜号の接近情報サービス「#らっきゃ」を導入 はっぴーバスや地域主体型交通へのバスロケーションシステムの導入検討 時刻表変更に伴う運行ダイヤの調整	
	III 地域のさらなる結びつき強化を図る公共交通の利用促進		7 利用しやすい料金体系の構築	○	㉓高齢者や子育て世帯等に対する運賃割引 ㉔免許返納者や乗り継ぎ利用者等に対する割引制度の拡充に向けた検討	⑱ ⑲	継続 継続		利用促進を図るためのさらなる運賃割引制度の検討(サブスクリプション) 免許返納者へのバス無料乗車券の継続配布、バス・鉄道間での乗り継ぎ割引の導入、北条鉄道での利用割引の導入検討
				○	㉕公共交通情報を総合的に発信 ㉖広報誌・Webを活用した情報提供	⑳ ㉑	継続 継続		おでかけナビの継続発行 SNSでの情報発信、広報誌での継続的な情報発信、個別ではなく一体的に情報発信
				○	㉗市民や観光客が集う主要施設に公共交通情報の掲示 ㉘公共交通機関相互の運行情報の提供	㉒ ㉓	継続 継続		エルズモール加西などの商業施設やsoraかさいなどの観光施設へのデジタルサイネージの設置検討 その他主要施設への公共交通情報の掲示推進 鉄道・バス車内での情報提供や運行情報の放送
			9 新たな利用開拓に向けた取組の実施	○	㉙北条鉄道における各種イベント等の実施	㉔	移動		
				◎	㉚北条鉄道でのICカード導入、定期券ネット販売導入 ㉛運動ポイント事業と連携した公共交通の利用促進	- -	新規 新規	アンケート調査結果より要望が多かったため 外出支援という点で共通する事業であるため	ICカードの検討、定期券の販売窓口でのクレジットカード購入対応やネット販売など 移動に公共交通を利用するとポイントが2倍もしくは付与されるなど
					㉜車内での絵画展等の企画の実施 ㉝公共交通無料お試し券の配布、車内絵画展の実施 ㉞企画乗車券(観光地周遊乗車券等)の継続・拡充	㉕ ㉖	変更 移動	上記㉚㉛以外の新たな利用開拓のため	公共交通お試し券の配布及び車内絵画展の開催
		10 公共交通に関心を抱いてもらう取組の推進	○	㉟モビリティ・マネジメント等の実施	㉗	継続		学校や事業所、工業団地の企業等へのモビリティ・マネジメント、イベントでの新モビリティ体験	
			○	㊱沿線企業等ふるさと納税・クラウドファンディング等によるサポート体制の構築 ㊲オリジナルグッズの製作・販売による収益の確保	㉘ ㉙	継続 継続		ふるさと納税・クラウドファンディング等の推進 継続的な北条鉄道のオリジナルグッズの開発・販売推進	
			○	㊳観光交通の導入・拡充・推進	-	新規	soraかさい線の推進に加えて、観光面での公共交通の推進を図るため	soraかさい線や法華口駅〜soraかさいのグリスロ推進や観光タクシー・電動キックボード等シェアリングなどのラストマイル交通の導入など	
		IV 回市外から環境づくり 市内の回遊を促進するPR等のみ	11 市内を周遊しやすくするための移動サービスの提供	○	㊴レンタサイクルの利用促進 ㊵高速バスへの接続強化によるバス交通での周遊促進	㉚ -	移動 新規		レンタサイクルの新規導入や利用促進 県内他市町、県外からの利用者のバス交通での周遊を促進
				○	㊶北条鉄道における各種イベント等の実施 ㊷企画乗車券(観光地周遊乗車券等)の継続・拡充	㉜ ㉝	移動 移動		新たなイベント列車の運行等(soraかさいや鶴野飛行場などと連携したイベントなど) 「新たな利用開拓に向けた取り組みの実施」より移動
				○	㊸サイクルトレインの拡充 ㊹鉄道と自転車の連携による回遊促進	㉞ ㉟	移動 変更	サイクリングマップを作成するなど、自転車需要の高まりに対応するため	北条鉄道と自転車を絡めたイベントやサイクルトレインの本格運行など
	○		㊺インバウンド需要に対応した環境整備	-	新規	歴史的な観光施設の整備に伴い、インバウンド需要も取り込んでいく必要があるため	時刻表の多言語表記や観光施設や駅などでのアンテナショップの整備など		
	-		公共交通の必要性を考える場づくり	◎	-	-	新規	公共交通事業の価値を知ってもらうため	公共交通活性化協議会委員やふるさと創造会議委員への周知 ふるさと創造会議や公共交通活性化協議会を活用したドライバー意見交換やシンポジウムの開催など